

# ひがしの子

令和4年6月1日

岐阜市立岐阜東幼稚園

園長 藤井 佐由美

職員室で仕事をしていると、こあら組の子どもたちが、毎日「絵本読んで〜！」と来てくれます。それぞれの子どもたちが、それぞれに好きな絵本をもって、我先に…と大人の隣の席を取り合います。初めのうちは、その時によりバラバラの絵本をもって来るが多かった子どもも、好きな本が決まってきて、恐竜の本、動物図鑑、お化けの本、ノンタンシリーズ、ゆうたくんちのいばり犬シリーズなど、お気に入りの絵本を持って来る子どもが多くなりました。今年度は、職員室も模様替えをして、絵本コーナーも新しくしたので、特に3歳児向けや子どもが一人でも読みやすいものを選んで置いてあります。

自分が選んだ絵本を一番に読んでほしい思いをもつ子どもが多い中で、エンドレスに近い形で、持ってきたものを全て読んでいると、「待っていれば、自分の番が回ってくる」ということが分かるようになり、他児の選んだ本でも聞いて待てるようになりました。もちろん、自分の絵本の番になるまで、他の遊びをしている子どももいます。それも含めて、心地よい空間なんだなあ…と、ほのぼのした気持ちになります。

4月は、職員室で遊ぶ子どもが、大きな声で走り回ることが多く、やっぱり大人のいる空間で遊ぶと安心なんだなあ…と感じていました。子どもたちに、職員室での過ごし方を根気よく知らせてきたところ、この頃は、「お客さんが来ているから、アリさんの声にしてね。」と内緒話で伝え、よくわかってくれ、他の先生が普通の声で会話していると、「し〜っ、アリさんの声だよ。」と内緒話で教えてくれるようになりました。ぼちぼちですが、社会性が身に付いてくるようです。少しずつおおきなあれ！！



たいよう組の子どもたちが、毎日のように、生き物を持ってきたり、幼稚園にある生き物をじっくり見たりする姿が多くあります。4月は、まだそのまま放置して飼育ケース内が干ばつ化していることも多かったのですが、テントウムシの卵から幼虫が生まれ、サナギになっていく様子を目の当たりにした子どもたちは、生き物に対する関心・感覚が変わってきたように思います。

先日も、青虫の幼虫に興味をもった子どもが、「みかんの木に卵を産むんだよ。」と、知っていることを教えてくれ、みかんの木を探そうとしていました。そんな子どもたちの願いを叶えるために、PTA会費からミカンの苗木を購入させていただきました。バタフライガーデンとまではいきませんが、卵を産んでくれるといいなあ、願っていたところ、なんと、週明け月曜日には、小さな卵が産みつけられていました。すごいことです。みんなの願いが通じたのですね。



## 《6月の保育について》

### 【3歳児】

- いろいろな感触を楽しんで、解放感を味わう。
- 先生と一緒に身の回りのことをしようとする。

### 【4歳児】

- 自分の思いや考えを先生や友達に伝えようとする。
- いろいろな素材に触れたり、身の回りの動植物に関心をもったりする。

### 【5歳児】

- 友達と同じ遊びをする中で、つながりを感じながら遊ぶ。
- いろいろな動植物に興味関心を示し、愛着をもって接する。



## お茶やさんのボランティアありがとうございます。

子どもたちの熱中症対策のため、お茶やさんの時間を設けています。その際のお茶屋さんのボランティアのご協力をいただきましてありがとうございます。ボランティア活動は、あくまでも「できる人ができる時に…」というスタンスでよろしくお願いいたします。

我が子の遊びの様子を見たり、保護者同士のコミュニティの場となったりする機会になれば、嬉しく思います。



## 家庭教育学級にご参加くださいまして、ありがとうございました。

6月1日（水）には、多くの方にご参加くださいまして本当にありがとうございました。子どもたちの素敵な姿を伝えたいと思うが故に、時間が延長してしまいましたことお詫びいたします。

子どもたちが素敵なのは、保護者の方の質の高さからであると思います。素敵な子どもたちに出会わせてくださったことに心から感謝いたします。